

函館工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	スポーツ科学Ⅳ	
科目基礎情報							
科目番号		0075		科目区分	一般 / 選択		
授業形態		授業		単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科		社会基盤工学科		対象学年	4		
開設期		後期		週時間数	1		
教科書/教材							
担当教員		浦田 清					
到達目標							
競技としてのバレーボールの基本技術に加えて、ルール、ポジション、プレーの知識を理解し、試合で応用できるようになる。体力測定を通して体力の理解と自己の体力レベルに合った運動処方を行うための知識を理解し、実践できるようになる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		標準的な到達レベルの目安に加えて、筆記試験、実技試験、課題で8割以上の点を取る		授業へ遅刻、欠席、見学することなく安全に注意し集中して熱心に授業に取り組む 筆記試験、実技試験、課題で6割の点を取る		遅刻、欠席、見学が比較的多く、授業に集中しない又は熱心に取り組まない。筆記試験、実技試験、課題で6割以下の点を取る	
学科の到達目標項目との関係							
函館高専教育目標 A							
教育方法等							
概要		これまでの授業内容からバレーボールとりあげ、競技するためのルールやポジション、プレーの知識を講義する。そのうえでチーム分けして実技でチーム練習を行う。 授業内容が公知の情報にのみ限定。					
授業の進め方・方法		上記概要を実技14時間で学習する。 実技試験（30点）、出欠・見学・授業態度（60点）、課題（10点）で評価する。また、次に該当するような授業態度（熱心に取り組まない、指示に従わない、授業におけるルールを守らない、他人に迷惑を掛ける、集団行動を乱す等）があった場合は、程度によって減点する。					
注意点		出席、態度も重視する。体調に気を付け毎時間、怪我のないように集中して授業に臨むこと。 1回の授業は90分の内容となっている。 本科目は学修単位（1単位）の授業であるため、履修時間は授業時間15時間と授業時間以外の学修（予習・復習、課題・テスト等のための学修）を併せて45時間である。 自学自習の成果は課題及び試験によって評価する。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週	ガイダンス バレーボール		今年度の授業の要点を理解できる バレーボールの技術体系、ルール、フォーメーション、基本プレーなどの知識を理解する		
		10週	バレーボール		バレーボールの技術体系、ルール、フォーメーション、基本プレーなどの知識を理解する		
		11週	バレーボール		バレーボール技術体系、ルール、フォーメーション、基本プレーなどの知識を理解する グループに分かれ基本技術、応用技術を習得し、試合で実践する		
		12週	バレーボール		グループに分かれ基本技術、応用技術を習得し、試合で実践する		
		13週	バレーボール		グループに分かれ基本技術、応用技術を習得し、試合で実践する		
		14週	バレーボール		グループに分かれ基本技術、応用技術を習得し、試合で実践する		
		15週	バレーボール		グループに分かれ基本技術、応用技術を習得し、試合で実践する 実技試験		
		16週	バレーボール		実技試験		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	筆記試験	課題	出欠・見学・態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	30	0	10	60	0	0	100

基礎的能力	30	0	10	60	0	0	100
專門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0